

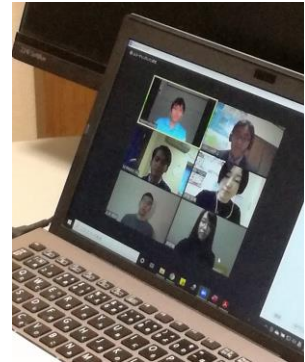
12月23日（水）理系留学生 Web 内定者座談会 レポート

(2021.1.20 相馬)

去る2020年12月23日（水）、2021年の就職活動を終えた理系留学生4名に集まっていただき、これから就職活動をする留学生に向けたweb座談会を開催しました。

参加者：

Fさん：大学 工学部 生命工学科	（ベトナム）	飲料メーカー内定
Tさん：大学 工学部 機械工学科	（ベトナム）	板金メーカー内定
Gさん：大学院 社会工学科建築専攻	（中国）	建築メーカー内定
Pさん：大学 情報通信学部	（韓国）	IT企業内定



～アジアリンクスタッフ～

井上：司会

相馬：書記

井上：今回、web座談会に参加いただきありがとうございます。コロナウイルスの影響もあり大変な中、内定を勝ち取った皆さんに、これから就職活動（以下本文：就活）を始める学生にぜひ体験をシェアしてもらいたいです。リラックスしてたくさん話してくださいね。

一同： はい！

井上： みなさんは、いつごろから就活を始めましたか？そして、最初に何をしましたか？

■就職活動の開始時期と、最初にしたこと

Fさん： わたしが就活を始めたのは、3年生が始まったばかりのころです。大学で色々な説明会があり、参加しました。さらに自分でインターネットを使い、「留学生、就活」というキーワードを入れて調べました。その中で、アジアリンクのウェブサイトが出てきたので、ちらっと見て、こんな仕事があるんだ、と思い、3年生の10月頃、留なびに登録しました。11月くらいに、ASIA Linkから電話がかかってきて面談をし、その後紹介された企業の面接に進み、内定が決まりました。

Tさん： 就活を始めたのは、3年生の後期に入ってからです。
学校の授業内で、就活の流れや、準備をしておくべきことを教えてくれる講義がありました。日本人も対象の講義でした。インターネットを使い、自分でも準備内容を確認しました。

Gさん： 私は皆さんと違い、就活を始めた時期が遅く、夏のインターンシップには参加しませんでした。3年生の10月ごろから本格的な就活を始めました。自己分析、企業や業界研究、学内外の色々なセミナーに行って情報収集をしました。

Pさん： 3年生の始めに就活を始めました。学内セミナーで、日本の就活の流れを確認しました。日本の新卒一括採用のシステムについての知識がなかったので、最初に学びました。3年の夏休みにインターンシップを始めました。4年生の2月ごろから本格的な活動を始めました。

井上： そうなんですね、皆さん始めたのが早いですね！ 就活の情報はどうのように集めていましたか？

■就職活動の情報の集め方

Fさん： 時間があるときに携帯で調べました。また学校の説明会に参加し、会社説明会があることがわかり参加しました。

Tさん： 私は就職支援の講義や、マイナビ、リクナビなどの企業情報サイトで企業研究をしました。キャリアセンターの先生が、情報収集の仕方や、企業分析の方法などを教えてくれました。会社のパンフレットを読んだりもしました。外国人をサポートしてくれる情報ももらいました。

Gさん： 研究室の先生から先輩が入社した企業についての情報を聞きました。自己分析をし、自分がどういう性格なのかを考えたり、どういう職種が合うのかを周りの人に聞いたりしました。就活中に情報量が大切だと思い、皆さんと同じようにいろいろな方法で情報収集をしました。私は建築専攻なので、建築業界の状況を紹介するwebサイトを見たり、校内の合同説明会に行ったりしました。とても役に立ちました。

合同説明会は、短時間に同じ場所で複数の企業が来てくれるものだったので、効率的に情報収集が出来ました。

Pさん： 学校のキャリアセンターを利用し、基本的な情報を得ました。不足していた情報は、インターネットを利用したり、留学生専用のサイトを使ったりしました。

井上： みなさん 色々なツールを使って情報収集をしていたのですね。身近な人に自分の印象を聞けるのは良いですね。では、会社説明会などを聞いて、選考を受ける会社はどのように決めていましたか？

■企業を受ける基準

Fさん： まず自分の専攻に関係しそうな会社を探しました。その中でも母国語が使える仕事があるかどうか注目しました。留学生、就活、のキーワードから、ベトナム語や工場とつなげて考えました。企業側もそれを求めるんじゃないかと考えました。

Tさん： 会社を選ぶ基準は、会社の雰囲気や自分の専攻が活かせるかどうかです。自己分析をしっかりと、企業研究やインターンシップをし、先輩からもアドバイスを聞きました。たくさんある会社の中で、自分に合う会社は多くないと思ったので、慎重に考えて選びました。

Gさん： 最終的に建築関連の業界と決めていたので、その中で自分が外国人として、日本人の学生と比べてどの部分が活かせるのかを考えて選びました。もう1点は、企業の将来性（グローバルな考え方）です。今あるものではなく、これから新たな分野に挑戦していきたいという考えを持っているかどうかを基準にしました。

Pさん： まずは自分がやりたいことができるか、自分の専攻が活かせるかを基準に考えました。次に会社の特徴です。いろいろな会社を調べたのですが、ブラック企業もあるかと思ったので、良いところに就職したいと考えました。社員の教育体制が整っている会社なのかどうかなど。

また、給与や福利厚生も重視しました。給与の内訳、フレックス制度、社宅制度があるのかどうかなどです。外国人にとって、社宅制度は大事だと感じました。

井上： 皆さん、色々な切り口で受ける企業を決めていたんですね。履歴書、SPI、面接などの対策はどのように準備していましたか？

■履歴書、SPI、面接などの対策の仕方と始めた時期

Fさん： 志望動機の準備などは、インターネットで調べて自分なりに作成しました。志望動機を作成後は、アジアリンクに確認してもらい、日本語の表現を直してもらいました。

井上： アジアリンクが役に立ったんですね、ありがとうございます！

Tさん： 私は面接の対策をたくさんしました。よく面接で聞かれた質問の答え方をメモし、その答え方について学校の先生の意見を聞きました。エピソードを入れて直す、というのを繰り返しました。半年くらいかかりました。

筆記試験の対策としては、苦手だった物理をたくさん学びました。SPIの本を買い勉強しました。本を一冊買うと、全体像が把握できたので良かったです。また、大学での就職活動の授業で、適性検査やSPIなどがあり、役に立ちました。たくさん勉強したことで自信が持てました。また、グループ面接の練習ができる場も利用しました。面接で上手く行かなかった部分を

振り返り、先生に相談し、精度を上げていきました。筆記試験の結果も良くなりました。

Gさん： 私は大学院1年生の時にSPIの練習を始めました。留学生は日本人の学生よりも早く対策をしなければいけないと思いました。数学は、世界共通の数字なのでまだ良いのですが、日本語の問題が留学生にとって難しいと思うので、早く取り掛かった方がいいと思います。

面接練習も、就活支援の先生と模擬面接の練習をしました。インターネットでも、1次面接、2次面接で聞かれる内容をメモして、自分で考えました。最終面接直前のASIA Linkスタッフに頂いたアドバイスが役に立ちました。

Pさん： SPIの対策は、4年生になる1月から始めました。1か月くらいの勉強時間で対応できると考えていたのですが、実際は難しかったです。もっと早くから勉強を始めるべきだと感じました。SPIは速く問題を解く必要があります。理系は非言語の部分が多いです。日本人よりも読むスピードが遅いので、たくさん問題を解いて慣れていくしかないと思いました。

面接練習では、前々から自己分析をして、自分が話すことを準備しました。学校で行われる面接対策や、アジアリンクの模擬面接の機会を利用しました。

井上： 留学生はSPIの準備をより早く進めた方がいいという事ですね。
特に面接の時に準備しておくべき質問はありましたか？

■面接前に準備しておくべき質問

Fさん： 志望動機と、将来的なキャリアプランだと思います。

Tさん： 研究についての質問だと思います。就職活動が始まった段階では、研究内容が決まっていなかったのですが、正直に「まだ決まっていない」と答えると落ちてしまっていました。研究室の目的をまとめ、今後の研究予定と、研究内容が企業の事業とどこで繋がっているのかを伝えることが大切だと思います。

Gさん： 志望動機、やりたい職種だと思います。面接で何度も聞かれました。弊社の部品について気になることはあるか？どこが気になるのか、など。自分が面接を受ける企業に対して、逆質問も考えておくといいと思います。最終面接では、コロナ禍の中でどう事業を進めていくのかを聞きました。面接官はそれぞれの段階で異なる立場の人が担当するので、それぞれの質問内容を考えた方がいいと思います。

Pさん： 自己PR、学校で勉強した専門分野についての質問です。時間はかかりますが、1度準備したらその後何社も聞かれるので準備をしておいた方がいいと思います。また、なぜこの企業を選んだのか、の質問には準備をするべきだと感じました。一番自己アピールが出来ると思います。また、私も、面接官によって質問の内容を変えるのが大切だと思います。エンジニ

ア相手では、どのような技術を使いますか？どのような準備が必要ですか？など。経営者相手には、財務状況についての質問などです。

井上： 相手の立場に立った発言が大切、ということですね。また、理系の皆さんは研究との両立が大変だったと思いますが、どのように工夫していましたか？

■研究との両立について

Fさん： スケジュールをしっかりと立てました。就活を始めたのは3年生の頃です。理系学部の勉強は、3年目が大変だと思います。そのため夏と冬のインターンシップは参加しないことにして、会社を調べる時間にしました。卒業するための単位を取るため、勉強に集中しました。夏休みや週末の空いた時間に、会社について調べました。4年生に入ってから、早めに先生に就職活動予定だと伝えました。伝えたことで、急に面接の予定が入っても休みやすくなりました。

Tさん： 内定が決まっていますが、卒業できなければ意味がありません。就活が始まる前に単位を取っておいて、就活に時間をあてられるように調整することが大事だと思います。勉強を中心に、3年生の前期までには、ほとんど単位を取った方がいいと思います。

Gさん： 私は大学院生なのですが、1年生で単位を全て取りました。10月、11月ごろから就職活動を始めました。2月までにゼミもやらないといけなかったもので、そのころは学業と半々でした。2月頃から本格的になり、指導教授に就活を優先させたいと伝え、ほとんどの時間を就活にあてました。5月に内々定をもらい、また学業に専念しました。

Pさん： わたしも1、2年生で単位をほとんど取りました。3、4生の時間を、就活にあてるためです。

井上： みなさん、就活は両立していたというよりも、就活の時期、学業の時期と分けて活動されていたんですね。あらかじめ周りの人に伝える、というのは大切なコミュニケーションですね。就活前に不安に思っていたことはありましたか？実際に就活してみてどうでしたか？

■就活前に不安に思っていたこと、実際に就活をして気づいたこと

Tさん： 不安に思っていたことは、自己分析の仕方です。自分の強み、弱みや、企業にどのように自分をアピールしたらいいのか分からず不安でした。学校の先生からはエピソードを詳しく話さないといけないとアドバイスもらったのですが、時間がかかり不安でした。自己分析がうまくできずに、何度も面接に失敗しました。失敗したことをもう一度振り返り、どこが失敗の原因だったのか自己分析をしました。そして先生に何度も見せ、アドバイスをもら

う、というのを繰り返しました。最後の会社で自信を持って伝えられ、内定を取ることが出来ました。自分がどのような性格なのかを友達に聞いたことで、初めて気づいたこともありました。

Gさん： 自分の日本語力が不安でした。就活は今までにない経験だったので、就活を通して日本語を上達させることが出来ました。

Pさん： 私は外国人なので、最初日本特有の、一括採用の流れが分からず不安でした。ですが学校に行って、セミナーなどを聞いて流れを知り、準備をすれば大丈夫でした。

井上： 就活中は準備することもたくさんありますし、大変なことも多かったですよね。反対に、就活中に嬉しかったこと、楽しかったことはありましたか？

■就活中の嬉しかった、楽しかった出来事

Fさん： ASIA Link の井上さんと話したことです。お世話になりました。

井上： 嬉しいです。ありがとうございます。

Tさん： 4回ほど参加したインターンシップです。知らない人と話したり、先輩方の話を聞いたりしたことです。

Pさん： 面接が楽しかったです。昔のような圧迫面接がなく、新卒でも尊重してくれました。話し合うこと自体が嬉しかった。企業によってはフィードバックをしてくれたところもあったので、満足でした。

Gさん： 金銭的な部分ですが、変な答えかもしれませんが、コロナの影響もありほとんどオンライン面接だったことが、交通費の節約、時間の節約になりました。何回も面接ができ、嬉しい部分もありました。

井上： 面接のコミュニケーションを楽しんでいたのですね。また、確かにオンラインの利点は経済的な部分がありますね。面接のために飛行機を使う必要がある地域でも、オンライン面接だと自宅で受けられますものね。今日も全国様々な地域から参加してくれています。それでは就活を通して自分が成長したと思う事はありますか？

■就活を通して成長したこと

Fさん： 成長したことは、メールの書き方です。アジアリンクの井上さんとのやり取りや、企業とのやりとりを通して、ビジネスメールの書き方が上達しました。

Tさん： 自信を持つことの大切さです。失敗に失敗を重ねて、自信を持っていくことです。

Gさん： ビジネスメールのやり取りです。いろいろなビジネス面の経験です。

Pさん： 話し方です。面接で短い時間に効率よく話す必要があったため、訓練になりました。

井上： 物事への向き合い方、実務的なスキルなどさまざまですね。最後にこれから就活をする学生にメッセージをお願いします。

■これから就活を始める人へのメッセージ

Fさん： 就活は大変だと思うけれど、自分のやりたいこと、希望の業界、職種など、一つ一つの条件を絞っていき、最終的に2つか3つまで絞っていくことが大切です。

Tさん： 就活の流れを把握して、積極的に参加することが大切です。

Gさん： 面接対策はもちろん、精神面も大事にしてください。コロナで今年はずっと大変になるかもしれませんが、困ったときに周りや家族に相談しながら乗り越えましょう。

Pさん： 日本で働くチャンスはきっとあると思うので、心配しすぎる必要はないと思います。SPIと面接準備をしっかりすれば希望の会社に合格すると思います。

井上： 皆さん、本日は貴重なお話を頂きましてありがとうございます。4月からのご活躍を期待しています！